

令和4年度 学校経営計画

練馬区立中村西小学校 校長 工藤 智昭

1 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、国際的視野に立つ、自主性・創造性に満ちた中村西小学校の子供を育てることを目指し、次の教育目標を設定する。

なかよく

自他の人格を尊重し、助け合って生活できる子供を育てます。

かしこく

学習に主体的に取り組み、よく考え解決しようとする子供を育てます。

にこにこ

豊かな情操をそなえ、誰に対しても分け隔てなく接することができる子供を育てます。

しなやか

心身を鍛え、健康な体づくりに努力する子供を育てます。

2 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 自他の生命を尊重し、子供や保護者にとって安全で安心のできる学校を目指します。
- (2) 指導する際の判断基準は、「子供にとってよいか」におきます。
- (3) 児童理解に努め、一人一人がもつ「よさ」を認め伸ばす指導を行っていきます。
- (4) 基礎・基本の定着を図るとともに、「分かる、楽しい授業」を展開し、確かな学力の育成に努めます。
- (5) 豊かな関わり合いを通して、他者を思いやり尊重する心を育てます。
- (6) 体力の向上を推進し、心身ともに健康な子供の育成を図ります。
- (7) 家庭や地域との連携を密にしながら、地域や保護者に信頼される学校を目指します。
- (8) 教育公務員としての自覚をもち、サービスを遵守するとともに、自己研鑽に励み、資質、能力を高めていこうとする教職員集団を目指します。

3 目指す学校像

子供が満足する学校

子供が満足する学校とは、

- 子供たちが学ぶ楽しさを十分に味わうことができる
- 子供たちが自分の成長を実感することができる
- 子供たちが主体的に学校生活を送ることができる

学校であると考えます。

保護者が安心する学校

保護者が安心する学校とは、

- 自分の子供の成長を実感することができる
- 学校の教育活動がよく見え、理解・共感することができる
- 保護者と学校が協力して教育活動を推進していくことができる

学校であると考えます。

地域に信頼される学校

地域に信頼される学校とは、

- 地域の方々が学校を応援し、協力してくれる
- 地域のこれまでの歴史、伝統を大切にする
- 地域と学校が協力して教育活動を推進していくことができる

学校であると考えます。

職員がやりがいを感じる学校

職員がやりがいを感じる学校とは、

- 一人一人の職員が職責を自覚し、個々の力を十分に発揮することができる
- 職員が自分の仕事の成果を実感することができる
- 職員が自分の勤める学校に自信と誇りをもつことができる

学校であると考えます。

この目指す学校像に近づくためには、全職員が同じ意識をもち、教育活動を進めていく必要があります。そのために、「なかよし なかにし」 を学校合い言葉として、本校の教育活動を推進していきます。

4 中期経営目標（3～5年先を見据えて）とその方策

(1) 豊かな心の育成

①自他を大切にすることや態度の醸成

- ・自尊感情や自己肯定感を高めながら、お互いのよさを認め合う指導を充実させる。
- ・「いじめ」をしない、させない指導の徹底を図る。
- ・縦割り交流活動の充実を図るとともに幼保小、小中との連携を強化し、小中一貫教育を推進する。
- ・特別支援教育の充実を図り、個に応じた指導を実施する。
- ・道徳教育や特別活動の時間を通じて、児童の主体性や協調性を育む。

②規範意識・奉仕の心の定着

- ・「中西小スタンダード」を活用し、全校的に指導・振り返りを展開する。
- ・あいさつ運動を充実させる。
- ・生活指導の基本項目の徹底を図る。
- ・栽培活動やボランティア活動を実施する。
- ・情報モラル教育やSNS 学校ルール等の指導を実施する。

(2) 確かな学力の定着

①「わかる」「できる」を実感させる学習活動の実施

- ・ねらいを明確にした授業と適切な評価により、児童に確実な学力を身につけさせる。
- ・児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じた指導を展開する。

②基礎基本の定着

- ・基礎的、基本的な学習指導の徹底を図る。(朝学習・家庭学習・学力補充教室・地域未来塾等)
- ・「中西小スタンダード」を活用し、学習規律の徹底を図る。(始業時、終業時のあいさつ・返事・話の聞き方・姿勢等)
- ・学習形態を工夫した指導を展開する。(習熟度別指導・ティームティーチング・補習・ICTの活用等)

③児童が「主体的・対話的・深い学び」を達成する学習活動の実施

- ・児童が課題をしっかりと把握し、追求していく態度を高めていく指導を展開する。
- ・対話的な活動を取り入れた学習活動を展開する。
- ・授業改善を図り、児童が主体的に学習を進めていける授業を実施する。

④ICT機器を活用した教育活動

- ・ICT機器(児童用タブレット型PC、指導用PCや電子黒板、プロジェクター等)を活用した学習活動を実施する。

(3) 体力の向上・健康安全教育の推進

①体育学習・体育的活動の充実

- ・体育学習の授業改善を図り、進んで運動に取り組む児童の育成を図る。
- ・体育的な活動や様々な活動を通じて、児童の運動の日常化を図る。

②健康教育の充実

- ・感染症予防のための「新しい学校の生活様式」の定着を図る。
- ・薬物乱用防止教室、非喫煙教育、食育、心の健康教育、生活習慣病予防教育等の健康教育を実施する。

③安全教育の充実

- ・校内外の安全指導、防犯、交通安全、防災等の安全教育を実施する。

(4) みんな（地域・家庭・学校）で育てる

<p>①地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動へ積極的に地域の人材の活用を図る。（ゲストティーチャー・体験活動等） ・地域行事へ積極的に参加する。（PTA 行事、地域育成委員会の行事等） <p>②家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携した教育活動を展開する。 ・各行事や学校公開アンケートや学校評価アンケートを通じて保護者の意向を把握し、学校の課題改善に反映させていく。 <p>③積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学級だより、学校ホームページを充実させ、教育活動の様子を積極的に発信する。 ・定期的に学校評議員会を開催し地域へ教育活動について知らせていく。
--

(5) 教員の資質向上

<p>①「学習指導力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業を創る力」「ねらいに沿って学習を進める力」「児童の興味を引き出し、個に応じた指導をする力」「主体的な学習を促すことができる力」「学習状況を的確に評価し授業を進める力」「授業を振り返り改善する力」を向上させていく。 <p>②「生活指導力・進路指導力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「児童と良好な関係を構築する力」「児童の思いを理解し、適切に指導する力」「児童の個性や能力を伸ばし、自己実現を図らせる力」「生活指導上の課題を発見し、解決する力」を向上させていく。 <p>③「外部との連携・折衝力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保護者・地域・外部機関に適切に対応する力」「保護者・地域・外部機関と連携し課題解決する力」「情報発信並びに情報収集を適切に行う力」を向上させていく。 <p>④「学校運営力・組織貢献力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「校務において企画・立案する力」「周囲とコミュニケーションを図りながら円滑に校務を遂行する力」「積極的に学校運営に参画する力」「校務の課題を把握し改善する力」を向上させていく。
--

5 今年度の達成目標と方策

- ※ _____ の部分は、先生方に確実に取り組んでもらいたい重点項目です。（できる限り自己申告への記載をお願いします。）
- _____ の部分は、保護者会資料にも載せた項目もありますので、工夫して取り組んでみてください。

(2) 豊かな心の育成

○達成目標	方 策
<p>○自他を大切に作る心や態度の醸成</p> <p><達成目標の柱となる内容></p> <p>① <u>自尊感情や自己肯定感を高める指導</u></p> <p>② <u>「いじめ」をしない、させない指導</u></p> <p>③ <u>縦割り交流活動</u></p>	<p>① ・委員会、クラブ活動、縦割り交流活動、係活動、当番活動等において児童一人一人の役割や協力することの大切さを意識させる指導を行う。</p> <p>② ・児童の人間関係を的確に把握し、きめ細かい指導を行うことでいじめの未然防止に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業や学級活動を通じて児童の相手を思いやる気持ちを育み、よりよい人間関係を構築する。 ・「いじめ」アンケートを定期的に行い、いじめの早期発見に努め、早い段階で対応する。（いじめ対策推進教員をはじめとするいじめ対策委員会を機能させる。） <p>③ ・縦割り班活動を、年間を通じて実施し、異学年交流活動を促進する。</p>

<p>④ 小中一貫教育の推進</p> <p>⑤ <u>特別支援教育の充実</u></p> <p>⑥ <u>学級活動の充実</u></p>	<p>④ ・校区別協議会を通して、小中両教員が授業参観を行い、情報交換（生活指導面、学習面）を密にしていく。</p> <p>・児童・生徒による交流活動を実施する。</p> <p>⑤ ・<u>定期的に特別支援校内委員会を開催し、支援を要する児童に対しての支援方法の検討、ならびに指導者・支援者の役割の明確化を図る。</u></p> <p>・<u>特別支援教室拠点校巡回教員と連携を図りながら特別支援教育を推進する。</u></p> <p>⑥ ・定期的な学級活動（話し合い活動）を実施し、子供たちが主体的に話し合う素地づくりを行う。（年間10回以上の学級会の実施を目標とする。）</p>
<p>○規範意識・奉仕の心の定着 <達成目標の柱となる内容></p> <p>① 「中西小スタンダード」の徹底</p> <p>② <u>あいさつ習慣の定着</u> <u>(今年度の重点項目)</u></p> <p>③ 栽培活動やボランティア活動</p> <p>④ <u>情報モラル教育・SNS 学校ルール</u></p>	<p>① ・「中西小スタンダード」の指導の徹底を図るために、全職員が同レベルでの指導を行っていく。</p> <p>② <u>年間を通じてあいさつに関する取り組みを実施し、児童が自ら進んであいさつをしようとする習慣の定着を図る。</u></p> <p>③ ・委員会の活動や各学年で栽培活動を実施し、自然の恩恵や勤労への感謝、生命に対する畏敬の念を育む。</p> <p>・クリーン運動を実施し、学校内外の清掃活動に取り組むことで、ボランティア精神を育む。</p> <p>④ ・<u>情報モラルに関する指導を全学年で実施し、児童の情報モラルに関する知識・意識の向上を図るとともに、SNS 学校ルールをもとに保護者への啓発を行い、SNS 家庭ルールの策定とその実施を促していく。</u></p>

(1) 確かな学力の定着

○達成目標	方 策
<p>○「わかる」「できる」を実感させる学習活動の実施 <達成目標の柱となる内容></p> <p>① <u>子供たちにとってわかりやすい授業の実施</u></p>	<p>① ・<u>学習の焦点化を図る</u>（授業のねらいをシンプルにわかりやすく示す）</p> <p>・<u>学習の視覚化を図る</u>（授業の内容を見える形で掲示したり、見せ方を工夫したりする）</p> <p>・<u>学習の共有化を図る</u>（子供たち同士が学び合い、学習したことを共有する）</p>
<p>○基礎基本の定着 <達成目標の柱となる内容></p> <p>① <u>基礎的、基本的な学習指導の徹底</u></p> <p>② <u>学習スタンダード（学習規律）の徹底</u></p> <p>③ <u>学習形態を工夫した指導</u></p>	<p>① ・朝学習の<u>計画的・継続的な実施</u></p> <p>・東京ベーシックドリルの活用や副教材の効果的な活用を図る。</p> <p>・地域未来塾での補習等を通じて、基礎基本の徹底を図る。</p> <p>② ・<u>全教員が「中西小スタンダード」を児童に確実に指導していくことで学習規律の徹底を図る。</u></p> <p>③ ・算数科において習熟度別少人数指導（一部はティームティーチング）を実施する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語科（5．6年）では、外国語担当教員（講師）とALTのチームティーチングで指導を行う。
<p>○児童が「主体的・対話的・深い学び」を達成する学習活動の実施</p> <p><達成目標の柱となる内容></p> <p>① 児童がしっかりと課題を把握し、追求する活動</p> <p>② 対話的な活動</p> <p>③ <u>ICT機器を活用した学習活動</u> (今年度の重点項目)</p> <p>④ プログラミング的思考の育成</p>	<p>① 児童に、課題把握→探求活動→まとめという学習の流れを定着させ、児童自らが学ぶ力を高めていく。 (問題解決型学習の定着)</p> <p>② 各教科等の学習において、積極的に対話的な活動を取り入れ、児童がお互いに学び合う機会を多く設定する。</p> <p>③ <u>ICT機器（児童用タブレット型PC、指導用PCや電子黒板、プロジェクター等）を活用した学習活を実施する。</u></p> <p>④ 年間指導計画に則って、各学年でプログラミング学習を実施する。</p>
<p>○読書活動の充実</p> <p><達成目標の柱となる内容></p> <p>① <u>読書の日常化</u></p>	<p>① ・学級文庫を活用しながら、読書活動の充実を図る。 ・定期的に読書旬間等を設定すると共に、学校図書館専門員と連携し、様々なイベントを実施しながら読書の日常化を図る。(家庭とも連携を図りながら実施していく。)</p>

(3) 体力の向上・健康安全教育の推進

○達成目標	方 策
<p>○体育学習・体育的活動の充実</p> <p><達成目標の柱となる内容></p> <p>① <u>体育学習の質の向上</u></p> <p>② <u>運動の日常化</u> (今年度の重点項目)</p>	<p>① ・<u>体育学習の授業改善を図り、児童が主体的に運動に取り組もうとする意欲を高める。</u></p> <p>② ・<u>体育的活動の充実を図り、児童に運動の日常化を促す。(定期的な体育的活動の時間の設定・持久走大会の実施・なわとび週間の充実・遊具等の検定表の活用・運動遊びの紹介等)</u></p>
<p>○健康教育の充実</p> <p><達成目標の柱となる内容></p> <p>① <u>新しい学校の生活様式の確立</u></p> <p>② 薬物乱用防止教室・非喫煙教育</p> <p>③ 食育</p> <p>④ 心の健康教育・生活習慣病予防教育</p>	<p>① <u>手洗い・マスク・ソーシャルディスタンス等の指導の徹底を図り、新しい学校生活の様式を確立する。</u></p> <p>② ・薬物乱用防止教室を実施し、薬物の害についての知識を身につけさせる。</p> <p>③ ・給食の時間に学校栄養士を活用した食育指導（食材や栄養を中心とした内容）を全学級に行う。</p> <p>④ ・児童が規則正しい生活習慣を確立するために、家庭と連携した健康教育の取組の充実を図っていく。</p>
<p>○安全教育の充実</p> <p><達成目標の柱となる内容></p> <p>① 校内外の安全指導</p> <p>② 防犯教育</p>	<p>① ・安全指導計画の指導内容について指導の徹底を図り、児童の安全に対する意識を向上させ、危機回避能力を高める。</p> <p>② ・セーフティ教室を実施し、防犯並びに不審者対応への</p>

<p>③ <u>交通安全教育</u></p> <p>④ <u>防災教育</u></p>	<p>知識や具体的な対応方法について理解させる。</p> <p>③ ・<u>交通安全教室を実施し、正しい歩行や自転車の乗り方等に関する安全についての知識や技能を身につける。</u></p> <p>④ ・<u>防災教育、防災訓練（全学年）を実施し、防災に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、自助・共助等、児童の危機回避能力を高める。</u></p>
---	---

(4) みんな（地域・家庭・学校）で育てる

○達成目標	方 策
<p>○<u>地域との連携</u> <達成目標の柱となる内容> ① <u>地域の人材の活用</u></p> <p>② 地域行事への積極的な参加</p>	<p>① ・<u>学校地域連携事業を推進し、地域の人材を活用した教育活動を行う。(ゲストティーチャーによる授業・体験的な活動の講師・学習サポーター・生活支援・地域未来塾等)</u></p> <p>② ・育成委員会主催の行事や地域・町会主催の行事等へ積極的に参加する。</p>
<p>○<u>家庭との連携</u> <達成目標の柱となる内容> ① 保護者と連携した教育活動</p> <p>② <u>積極的な教育活動の公開</u></p> <p>③ アンケートを通じた保護者の意向の把握</p>	<p>① ・保護者会、個人面談等を通して保護者との連携を図る。 ・PTA活動、PTA行事を通して保護者との連携を図る。</p> <p>② ・<u>土曜授業公開、体育的行事（ダンスフェスティバル）、学芸的行事（学芸会）の実施と工夫した公開の仕方の検討</u></p> <p>③ ・運動会、学芸会、学校公開、学校評価等でアンケートをとり、保護者の意向を把握するとともに教育活動の改善に反映させる。</p>
<p>○<u>積極的な情報発信</u> <達成目標の柱となる内容> ① <u>教育活動の様子の積極的な発信</u></p>	<p>① ・学校だよりの充実を図る。(各学年や行事での児童の活動の様子を掲載し発行する。)</p> <p>・<u>学校ホームページの充実を図る。(学校ホームページを定期的に更新して、教育活動の様子を伝える。)</u></p> <p>・<u>学級だよりの定期的な発行を行う。(各学級の様子を、学級だよりに通じて保護者に伝える。)</u></p> <p>・学校評議員会を定期的に開催する。(学校評議員会を年間3回開催し、教育活動の様子を伝えるとともに、学校関係者評価を行い、学校経営に反映させる。)</p>

(5) 教員の資質向上

○達成目標	方 策
<p>○「<u>学習指導力</u>」の向上 <達成目標の柱となる内容> ① <u>ねらいに沿って学習を進める力</u></p> <p>② <u>主体的な学習を促すことができる力</u></p>	<p>① <u>意図的・計画的な授業を実施する。(週の計画表に基づいた授業の実施)</u></p> <p>② <u>自力解決、問題解決型の授業を実施する。(課題把握・自</u></p>

<p>③ 専門性の向上</p>	<p>力解決・集団検討・まとめ等の学習の流れ) ③ 教育会研究会・研究発表会・指導教諭模範授業等に積極的に参加し、教科の専門性を高める。</p>
<p>○「生活指導力・進路指導力」の向上 <達成目標の柱となる内容> ① 生活指導上の課題を発見し、解決する力</p>	<p>①・教職員の共通理解の下で組織的に生活指導を行い、児童に規範意識を醸成する。(全教員が同レベルでの生活指導を行う。) ・あいさつ・返事・言葉遣い・廊下の歩行・給食・掃除・等の場面で具体的かつ適切な指導を行う。</p>
<p>○「外部との連携・折衝力」の向上 <達成目標の柱となる内容> ① 情報発信並びに情報収集を適切に行う力 ② 保護者と連携し課題解決する力</p>	<p>① 積極的に情報発信、情報収集を行い、外部との連携を強化する。(校務 PC、ICT 機器の活用を含む。) ② 保護者会や個人面談で得た情報を適切に指導に反映させる。</p>
<p>○「学校運営学校運営力・組織貢献力」の向上 <達成目標の柱となる内容> ① 積極的に学校運営に参画する力・校務において企画・立案する力 ② <u>サービス規律の徹底</u></p>	<p>① 自分の職層や校務分掌・役割を自覚し、主体的に学校運営(具体的な企画・立案、分掌職務の遂行)に参画する。 ② <u>教育公務員としての自覚をもち、サービス規律を遵守する。(体罰・個人情報の管理・わいせつ・セクハラ・会計事故・飲酒事故・勤務時間・通勤等、サービス事故防止研修の定期的な実施とその具体的防止策の周知を年間通じて行う。)</u></p>